



題字 埼玉県立浦和第一女子高等学校 3年
今井 理緒 様

表紙写真 第17回埼玉県議会フォトコンテスト 議長賞「大満足な笑顔」
撮影者：滝瀬 初男 様 撮影場所：北本市 高尾



県議会マスコット
「ポッコ」

右記のQRコードを読み込み、アプリ「COCOAR」をダウンロードして、上の写真にスマートフォンをかざすと、フォトコンテストの他の入賞作品をご覧になれます。
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。



主な内容

1 面

- ◆議長あいさつ
- ◆2月定例会の動き
- ◆議決の概要

2・3 面

- ◆代表質問・一般質問

4・5 面

- ◆予算特別委員会
 - ◆主な質疑と答弁
 - ◆令和4年度一般会計予算の概要

6・7 面

- ◆委員会レポート
- ◆意見書・決議
- ◆主要会派から

8 面

- ◆「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」を可決
- ◆新たな委員会構成
- ◆県議会公式Twitterを開設しました
- ◆県議会クイズ プレゼント付き!

2月定例会の動き

2月17日(木)から3月25日(金)までの37日間にわたり開かれました。

2月17日 開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。

2月24日・25日 代表質問

2月28日～3月3日 一般質問

代表質問では会派を代表して4人の議員が、一般質問では9人の議員が質疑・質問を行い、活発な議論がなされました。(2・3面)

2月24日・3月4日・7日 常任委員会

補正予算・条例などの議案の審査などが行われました。(6面)

3月7日・8日 特別委員会

付託案件の審査が行われました。
※予算特別委員会を除く (6面)

3月9日～11日・14日・15日・17日・22日 予算特別委員会

当初予算案などについて、集中的な審査が行われました。(4・5面)

2月28日・3月8日・24日 委員長報告

3月25日 閉会日

各委員会の委員長報告を受けて採決が行われました。また、正副議長の退任に伴い、選挙により新たな正副議長が選出されました。

なお、2月24日、3月7日には知事追加提出議案について、知事から提案説明などが行われました。

議長あいさつ



埼玉県議会議長
中屋 敦慎一



埼玉県議会副議長
武内 政文

第126代埼玉県議会議長に就任いたしました中屋敦慎一です。誠に身に余る光栄であり、心より感謝を申し上げますとともに、歴史と伝統のある埼玉県議会の議長という職責の重さに身が引き締まる思いであります。

さて、新型コロナウイルス感染症は、社会生活や経済に打撃を与え、私たちが大きな不安に陥れています。コロナウイルスとの闘いが続く中、傷ついた経済を早期に回復させ、県民の皆さまが安心して暮らせる社会を取り戻さなければなりません。

そのためには、ウイズコロナからポストコロナに向けてAIや5Gなどの技術を活用したDXを強力に推進し、本県の経済を強固なものとして再構築することが重要です。

また、令和4年度からは新たな「埼玉県5か年計画」に基づき、さまざまな施策を展開します。

二元代表制の一翼を担う県議会が、監視機能を十分に果たして、しっかりと効果を検証するとともに、社会状況に即した政策を的確に提言していくことが、県民の負託を受けた県議会の責務だと確信しております。

県民の皆さまにおかれましては、今後とも県議会に対するより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議決の概要

知事提出議案

- 令和4年度埼玉県一般会計予算(5面)
 - 埼玉県職員定数条例の一部を改正する条例
 - 知事の期末手当の特例に関する条例の一部を改正する条例
 - 埼玉県特別県営住宅条例の一部を改正する条例
- など81件を可決、そのほか8件に同意

議員提出議案

- 埼玉県ひきこもり支援に関する条例(8面)
 - 死亡ひき逃げ事件における公訴時効撤廃に向けた法整備等を求める意見書
 - 労働者災害補償保険の給付の迅速化を求める意見書
 - ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議
- など14件を可決

ホームページで
ご覧になれます

代表質問・一般質問の質疑質問・答弁の全文は右のQRコードからご覧になれます。




2月25日(金曜日)



西山淳次
(公明)



田並尚明
(民主フォーラム)

2月24日(木曜日)



岡重夫
(県民)



小島信昭
(自民)

代表質問

2月24日、25日の代表質問では、会派を代表して4人の議員が質疑質問を行いました。

環境

代表質問
地球温暖化対策について

Q 国際社会は2050年までに世界の脱炭素化を目指す。それには2030年までの10年間で決定的に重要。国は2030年の目標を2013年比46%以上削減と掲げる。現在見直しを行う県の目標も46%以上と考えてよいのか。また、どんな新たな対策を検討しているのか。

A 46%の目標達成にはエネルギー政策をつかさどる国の果たす役割が大きいと考えている。県としても、削減対策を強化するとともに、エネルギーの供給面などあらゆる視点で検討し、新たな目標を46%以上としたい。まちなみづくり・DX・脱炭素を三位一体で進める施策も検討する。

知事の県政運営方針

代表質問
「あと数マイルプロジェクト」(※1)について

Q 令和3年3月、県内交通の在り方や課題を整理するため立ち上げた「公共交通の利便性向上検討会議」の報告書がまとめられた。これを受け、埼玉高速鉄道線延伸の課題解決に向けたスケジューリングと熱意を伺う。また、他の4路線(※2)についても令和4年度の目標を伺う。

A 埼玉高速鉄道線は、さいたま市長が示した令和5年度中に鉄道事業者に要請するとして延伸スケジュールを予定しており実現させるべく市とワンチームとなり全力で進めていく。他の路線は、進捗に応じた調査を実施し、B/C(※3)の向上や延伸ルートとの絞り込みに取り組みする。

農業

代表質問
農業分野での脱炭素に向けた取組について

Q 海外ではカーボンプレジット(※7)が第2のゴールドラッシュとして注目されている。農業分野でも、ライ麦の炭素貯留効果(※8)や森林吸収によるCO₂削減量を売って収入にする例がある。本県においても新たな脱炭素の研究を始めることができないか所見を伺う。

A 令和4年度から、稲収穫後の農地での炭素貯留効果の研究や本県のいちご品種「べにたま」の暖房用燃料消費を抑える研究など、脱炭素化に向けた研究に取り組む。国などと連携しながら、カーボンプレジットの活用にもつながる、本県農業に適した脱炭素化を進めていく。

知事の県政運営方針

代表質問
DX(※4)の推進について

Q DX推進会議を定期的に開催し、全職員がわが事としてDXの推進を図る意識や知識を持てるようにすべき。また、デジタルの世界は日進月歩。最新の知識を持つ人材を外から招けいすべし。さらに、広聴・広報に努め、県民一体となった事業展開を図るべき。所見を伺う。

A 効果的な推進会議の実施はもちろん、職員意識向上を常に念頭に置き取り組む。また、DXには専門性の高い知見が必要。段階に応じた最適な専門家に最適な形で関わっていただく。さまざまな広報機会を通じ周知し、県民一一致・意見を把握し、県民一体となった事業展開につなげる。

一般質問

代表質問
令和4年度埼玉県一般会計当初予算案について

Q 令和4年度当初予算案は、県税収入は増えたが、実質的な地方交付税(※5)は減り、基金を取り崩して収支を合わせた。感染対策の歳出圧力が高まれば収支バランス維持も難しくなる。コロナ対策と地域経済活性化の両立を見据え、どう収支バランスに配慮し予算編成したのか伺う。

A 予算編成では感染拡大防止とDX推進による地域経済回復・成長の両立を意識し、国庫補助金をできる限り活用するとともに、県独自財源の基金もフル活用した。コロナ対策の財源は、本来国が全額措置すべき。他事業に支障が出ないよう必要な財源を国に強く求めていく。

一般質問

代表質問
令和4年度埼玉県一般会計当初予算案について

Q 令和4年度当初予算案は、県税収入は増えたが、実質的な地方交付税(※5)は減り、基金を取り崩して収支を合わせた。感染対策の歳出圧力が高まれば収支バランス維持も難しくなる。コロナ対策と地域経済活性化の両立を見据え、どう収支バランスに配慮し予算編成したのか伺う。

A 予算編成では感染拡大防止とDX推進による地域経済回復・成長の両立を意識し、国庫補助金をできる限り活用するとともに、県独自財源の基金もフル活用した。コロナ対策の財源は、本来国が全額措置すべき。他事業に支障が出ないよう必要な財源を国に強く求めていく。

産業

一般質問
原油・原材料価格高騰対策について

Q 原油・原材料価格の高騰が広がっている。対策会議を設置し、農業、交通、福祉など影響を受ける事業者への支援を検討するなど、早急な対策を行うべき。公共工事では資機材高騰や輸送コスト上昇に対応するためスライド条項(※11)の適用を活用すべき。

A 令和3年12月、経営安定資金(※12)の対象を全業種にし、緊急融資枠100億円を設けた。令和4年度も継続する。関係部局が情報共有する体制を敷き、迅速に取り組む。また、スライド条項の制度周知を図っており、今後により申請しやすい環境づくりに努める。

まちづくり

一般質問
大宮スーパーボールパーク構想(※6)について

Q 日本ハムファイターズ新球場はボールパークとしてオープン予定。民の力を借り一度は行きたいと思わせる。翻って知事が描く大宮スーパーボールパークはどんなイメージか。民の力を生かすには、都市公園法の収益活動制限を外す特区申請の可能性もあると思うが考えを伺う。

A 「試合がある日もない日も楽しめる公園」をビジョンとし大宮公園競技施設エリアに、にぎわいや交流の空間を生み出す。氷川の杜の自然や歴史などにも配慮していく。構想を魅力的にするには民間の資金導入と自由な発想が重要。特区申請が必要であれば柔軟に活用を検討する。

観光

一般質問
ポストコロナを見据えた県の観光事業者への支援について

Q コロナの影響で観光業界は苦境に立たされ、危機的な経営を強いられる事業者が増えている。コロナ禍で人々の旅行形態や志向が変化し、コロナが終息しても収益を以て前の水準まで回復させるのは難しいと聞く。県として疲弊した観光事業者が希望を見出すような支援をすべき。

A 即効性の高い観光振興策の感染状況に応じた実施が急務と考える。これまで県内宿泊・観光客9万人が利用したクーポン券を10万人分追加し、旅行代金の50%を割り引く新たな観光応援キャンペーンを準備している。事業者と意見交換し、オール埼玉で観光を盛り上げていく。

インフラ

一般質問
自動運転時代を見据えた道路行政について

Q 2025年、自動運転はレベル4になり高速道路での自動運転が実現。その先のレベル5では市街での自動運転が実現する。道路の重要性は高まるが、支障となるのが道路環境。本県は混雑地点が多く混雑時の走行スピードも遅い。自動運転社会を迎え撃つ道路整備の考え方を伺う。

A 自動運転は社会課題の解決に大きな効果が期待される。街中ではゆとりある道路空間を創出し、途中で途切れている道路の解消等に取り組む。令和3年に車両の位置を特定する磁気マーカーを道路に設置できる条例改正をした。新たな道路ニーズにも応えられる道路整備を推進する。

3月3日(木曜日)

3月2日(水曜日)

3月1日(火曜日)

2月28日(月曜日)

一般質問

2月28日から3月3日の一般質問では、9人の議員が質疑・質問を行いました。



高橋政雄 (自民)



松坂喜浩 (県民)



松澤 正 (自民)



飯塚俊彦 (自民)



塩野正行 (公明)



渡辺 大 (自民)



高木真理 (民主フォーラム)



並木正年 (県民)



荒木裕介 (自民)



教育

A 文化・芸術は人々の心に潤いと安らぎをもたらす。郷土芸術家育成は大変に意義がある。近代美術館では、本県ゆかりのアーティストを紹介する展示会などで若手芸術家を支援。将来の芸術家を育てる観点から、学校への芸術家派遣等で子供たちの文化芸術への関心を高めていく。

Q 文化・芸術は最重要。いち早く取り組むべきは郷土芸術家を育てること。県立近代美術館はすばらしい絵画を収蔵し企画展に力を入れているが、公立美術館の使命として、郷土芸術家育成につながる企画、子供たちへの教育普及をさらに積極的に行うべきと考える。所見を伺う。

一般質問
郷土芸術家の育成につながる美術館



保健・医療

A 県内45市町村が行政職員・教員などを対象にゲートキーパー研修を実施している。市町村では住民理解の課題以外に、養成後の活動支援、研修内容充実、講師確保といった課題を持つ。県はホームページやSNSで制度を周知し、県内外の好事例を市町村と共有し、課題解消に取り組む。

Q 本県の自殺者数は毎年千人を超え依然深刻だ。身近な人の自殺のサインに気づき、話を受け止め、必要に応じて専門機関へつなぐゲートキーパーが必要だが、調査では86%の県民がその存在を知らない。ゲートキーパーの養成の現状と、今後の更なる取り組みについて伺う。

代表質問
自殺防止対策ゲートキーパーについて

A 家庭科・公民科の学習指導要領が18歳成人を見据え改訂され、各高校では成年年齢引き下げの留意点等をまとめたリーフレットで指導している。また消費生活支援センターと連携し、消費者トラブルのオンライン授業も行う。今後は指導事例集を作り、学校での活用を促す。

Q 改正民法による成年年齢の引き下げで、18歳から親の同意なく契約を結ぶ、契約上の権利と義務が発生する。消費者問題をはじめ制度改正により懸念されるトラブルを未然に防ぐため、変わることに変わらぬこと、自分自身への影響を学校で教える必要があると思うが見解を伺う。

一般質問
18歳成人を迎える生徒への教育について

A 常軌を逸した想定外の出来事だが、今後もあるという前提で対策する必要がある。事件後すぐに医療機関に国の通知等を周知した。今後警察の協力も得ながら研修会を実施し、併せてアンケート調査を行うことで、安心して仕事ができるような必要な対策を早急に検討し実行をする。

Q ふじみ野市の住宅で訪問医療の医師が散弾銃で殺害される衝撃的な事件が発生した。これを契機に訪問医療や訪問介護に伴うリスクを再認識し、対策に取り組むべき。専用相談窓口の設置や研修の充実、警察等との連携などの対策を検討し、実行に移すべきと考えるが見解を伺う。

代表質問
訪問医療、訪問介護の安全対策について



福祉

A これまで認知症の早期発見・早期対応の基盤を全市町村で整えてきた。これからは買い物や通院など生活支援や社会生活支援も重要。認知症の方や家族のニーズに合った支援につなげる「チームオレンジ」構築を全市町村で推進する。スピード感を持って取り組んでいく。

Q 認知症でも住み慣れた地域で尊厳と希望を持ち安心して生活できる社会の実現を目指す。そのためには医療・介護・生活支援など連携した支援体制が求められる。地域包括ケアシステムのさらなる体制強化と認知症対策を一体とした体制づくりを急ぐべきと考えるが見解を伺う。

代表質問
2040年に向けた高齢者介護・医療体制について認知症の家族を守るための体制強化

A 保育所・幼稚園・小学校の教員等に気付きの研修を行い、保健センターに早期発見につながる検査ツール活用を促し、保健師が技法を学ぶための実践的な研修も実施している。今後は県内の対応差が生じないよう、早期発見、相談、療育の場面ごとに学べる研修動画作成に着手する。

Q 発達障害は「早めの気づきがより良い支援の第一歩」。気付きを支援につなげる相談・支援体制が幼少期から求められる。県内全ての保健センターで発達障害を早期発見し、切れ目のない支援につなげる方策の充実が必要で、ガイドラインを設けることが重要と考えるが見解を伺う。

一般質問
発達障害児(者)への支援について



災害対策

A 災害時は一斉帰宅抑制が原則で発災後4日目から順次帰宅となる。被災状況等が予測できず輸送区間想定は困難だが、東京都と避難行動要支援者のバス輸送訓練を毎年実施し、柔軟で迅速な対応につなげる。また、災害時の交通手段等の情報を迅速に伝えるシステム構築に取り組む。

Q 巨大地震のリスクは年々高まり、公共交通機関が断たれた場合の帰宅困難者対策を確立する必要がある。しかし、代替輸送としてのバスの具体的な輸送区間は定められていない。東京都と具体的なバス輸送区間を定めるなど、今できることをやるべきと考えるが見解を伺う。

一般質問
災害時の帰宅困難者対策東京都との具体的な輸送区間について

用語解説

- ※1 **あと数マイルプロジェクト**
将来の人口・需要や新たな技術の動向等を十分に把握した上で、公共交通および道路網のさらなる利便性向上策について、これまでの経緯等も踏まえつつ検討し、限られた予算の中で、県境路線を含めた効果の高い部分について、重点的に整備を進めるもの。
- ※2 **他の4路線**
「あと数マイルプロジェクト」において延伸を計画している鉄道のうち、「埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線)」を除いた「東京12号線(大江戸線)」、「東京8号線」、「日暮里・舎人ライナー」、「多摩都市モノレール」の4路線を差す。
- ※3 **B/C(ビーバイシー)**
費用対効果。費やした費用に対してどのくらいの効果が得られるかを表す概念。
- ※4 **DX(デジタルトランスフォーメーション)**
最新のデジタル技術を使って生活スタイルや働き方、事業などを革新すること。
- ※5 **実質的な地方交付税**
地方交付税の総額に臨時財政対策債を加えたもの。臨時財政対策債とは、国から地方交付税として交付されるべき額の不足分を県が代わりに借り入れるもので、元利償還金相当額は後年度の地方交付税で全額措置される。
- ※6 **大宮スーパー・ボールパーク構想**
大宮公園にある3つの競技施設(野球場、サッカー場、双輪場)を活用し、歴史ある大宮公園をより魅力ある公園としていく再整備計画のこと。
- ※7 **カーボנקレジット**
省エネルギー機器の導入などによって生まれるCO₂などの温室効果ガスの削減量、吸収量を「クレジット」として発行し、企業間などで売買できるようにする仕組み。CO₂排出量の実質ゼロを目指す企業が増えることで需要が増加している。
- ※8 **炭素貯留効果**
大気中のCO₂を吸収した有機物を土壌に投入すると、含まれる炭素の一部は分解されにくい腐食物質になり土壌に蓄積される。結果、大気中のCO₂が削減される効果のこと。
- ※9 **S-GAP**
埼玉県が独自に策定したGAPのこと。GAPは「Good Agricultural Practice」の略で、直訳すると「良い農業のやり方」。農業に関する法律や規則、モラルを守ることにより、食品安全、労働安全、環境保全それぞれに配慮した持続的な農業経営をすることを意味している。
- ※10 **国際水準GAPガイドライン**
農林水産省が策定した、国際的に求められるGAPの取り組み事項を、「食品安全・環境保全・労働安全・人権保護・農場経営管理」の5分野に分け、根拠および参考となる法令・通知等と共に提示しているガイドラインのこと。
- ※11 **スライド条項**
スライド制度は、埼玉県建設工事標準請負契約約款第26条(いわゆるスライド条項)に規定された制度。工事の契約締結後に賃金水準や物価水準が変動し、その変動額が一定程度を超えた場合に請負代金額の変更を請求できる。
- ※12 **経営安定資金**
中小企業の経営安定や再生に向けた融資制度のこと。新たに原油・原材料価格高騰の影響を受けている中小企業を対象とし、最近1か月の売上総利益率または営業利益率が、過去2年のうちいずれかの同月に比べて5%減少している事業者が対象となる。



ぜひ、ご覧ください!!



令和4年度一般会計当初予算案などについて、部局別質疑が3月9日、10日、11日、14日、15日の5日間にわたり行われ、17日には総括質疑が、22日には討論・採決が行われました。審査の結果21件を原案の通り可決すべきものと決定しました。

なお、一般会計当初予算案については、事業の執行に適切な対応を求める附帯決議を付すことを賛成多数により決定しました。

予算特別委員会は32人の委員で構成され、県の予算案を集中的に審査するために設けられました。部局別質疑において事業内容などを詳細に審査した後、総括質疑では10人の委員が質疑に立ちました。各委員の質疑に対し、一問一答の形で知事をはじめ執行部から答弁がありました。

予算特別委員会



部局別質疑から

主な質疑と答弁

財源調整のための基金の残高について

Q これまで基金残高については、700億円程度が還元すべき数値目標であるとの議論がなされてきた。現状においても、この水準に回復させるといふ考え方に変わりはないか。

A ここ数年の基金の取り崩しは、およそ500億円前後で推移している。今回、730億円を取り崩している。これは令和3年度の税収が好調であったため、地方交付税をもらい過ぎていた状況であり、制度上、令和4年度からの3年間で精算しなければならぬ。この精算に単年度で185億円程度必要であり、この精算額を差し引くと500億円程度の取り崩しとなる。今後は、財政に余裕を持たせるために、これまで数値目標としてきた700億円ではなく、ここ数年取り崩してきた500億円、2年分となる1000億円を確保したいと考えている。

埼玉版スーパー・シティプロジェクト（※1）に取り組む市町村への事業化検討補助および事業推進補助について

Q 令和2年度の普通交付税不交付団体と交付団体で補助率が異なっている。まちづくりの推進に係る助成において、普通交付税の交付状況で差をつけるべきではないと考えるがどうか。

A まちづくりには多額の費用を要するため、特に財政力の低い市町村には負担が大きい。そのため、限りある財源の中で、より多くの市町村に当該補助制度を活用していただけるよう、財政力の低い団体に対し、手厚い支援となるよう制度設計を行った。

多子世帯応援クーポン事業（※2）について

Q 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少する多子世帯のために、その補填や貯金に使えるよう、現金給付が有効であると考えられる。また、現金給付とすることで、利用者の利便性が向上するとともに、給付に要する事務費の削減にもつながり、削減分を給付額に上乗せすることができるのではないか。

A 多子世帯応援クーポン事業の目的として、経済的支援のほかに子育てサービス業界の育成や県全体で多子世帯を応援していることを示す意味合いも持っている。現金給付とした場合は、貯金や子育て以外の使用も考えられることから、子育て支援のために使用できるクーポンでの給付が最善だと考えている。また、経済的支援については、国に対して実態を示し、児童手当や児童扶養手当制度について議論していきたい。

保育士の確保と定着について

Q 国の処遇改善事業が実施されることになったがこの事業では近隣都県との賃金格差は解消されない。東京都や千葉県のように、保育士の給与水準改善のため、県独自の処遇改善を行うことを検討したのか。

A 県単独の処遇改善の要望があることは承知している。近隣都県との賃金格差が統計上にも表れていることから解決しなければならぬ課題だと認識している。本質的な問題は、国の定める公定価格が非常に不合理であることであり、その解決を国へ要望していきたい。



用語解説

※1 埼玉版スーパー・シティプロジェクト

超少子高齢社会のさまざまな課題に対応するため、「コンパクト」「スマート」「レジリエント」の3つを要素とする持続可能なまちづくりに市町村とともに取り組むプロジェクト。

※2 多子世帯応援クーポン事業

多子世帯の育児に係る負担を軽減するため、第3子以降が生まれた世帯に子育て支援サービスなどに利用できるチケット（3キュー子育てチケット）を配布する事業。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|-----------|----------|----------|-----------|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|--|
| 宮崎栄治郎(自民) | 中屋敦慎一(自民) | 須賀敬史(自民) | 武内政文(自民) | 小川真一郎(自民) | 白土幸仁(自民) | 鈴木正人(県民) | 村岡正嗣(共産党) | 水村篤弘(民主フォーラム) | 萩原一寿(公明) | 権守幸男(公明) | 永瀬秀樹(自民) | 細田善則(自民) | 岡田静佳(自民) | 内沼博史(自民) | 横川雅也(自民) | 井上航(県民) | 山根史子(民主フォーラム) | 辻浩司(民主フォーラム) | 安藤友貴(公明) | 吉良英敏(自民) | 美田宗亮(自民) | 木下博信(自民) | 宮崎吾一(自民) | 並木正年(県民) | 江原久美子(県民) | 逢澤圭一郎(自民) | 八子朋弘(県民) | 秋山もえ(共産党) | |
| 副委員長 | 副委員長 | 委員長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 田並 尚明 | 神尾 高善 | 本木 茂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (民主フォーラム) | (自民) | (自民) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

予算特別委員会 委員名簿
(令和4年3月25日現在)

総括質疑から

主な質疑と答弁

証紙の廃止について

Q 令和4年度予算では、電子申請届出サービスでクレジットカード支払いができるようにシステム改修経費を計上している。現在、DXを推進している中で、決済の選択肢を整えながら、一斉に証紙を廃止することは考えられないのか。

A 県のDXビジョンロードマップでは、キャッシュレス化の本格運用時期を令和5年度中としており、同時期に証紙の廃止を目指したいと考えている。現在、庁内検討会議を立ち上げて、証紙の廃止に伴う収納方法の在り方や課題解決に向けた検討を行っているところであり、証紙制度の見直しについては、スピード感を持って取り組んでいく。

彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修について

Q ウイズコロナ、アフターコロナを想定し、専門家の知見も取り入れて、接触感染や飛沫感染等の徹底した対策が図られるよう見直しが必要と考えるがどうか。今後、収益を上げていくために、民間の劇場とも競っていかねばならない。デジタルインフラの整備された、日本一安心・安全な劇場を目指して来場者を増やすことが、赤字体質の解消につながると思うがどうか。

A 令和2年度に、新型コロナウイルスの感染対策を踏まえて基本設計と実施設計を行っている。



。接触感染を減少させる仕様となっており、ホール内は、換気機能の強化が図られる空調システムに更新する。改修後は、近藤良平新芸術監督の下、芸術性の高い舞台作品を快適なホールで鑑賞できる機会を提供するなど、多くの方に訪れていただくことが、収益の向上につながるものと考えている。

観光振興関連予算について

Q 補正予算で計上した繰越額約78億円については、本県の観光をさらにブラッシュアップしていくための予算ではなく、ほとんどがコロナ禍における事業者支援の予算であった。本県にとって観光は、どのようなものであると考えるのか。



A 観光は国内外から人を呼び込み、地域ににぎわいや消費を生み出す、経済を活性化させる重要な産業の一つと捉えている。本県には、自然や歴史、文化など伝統的な観光にとどまらず、グルメやアニメなど、多彩な魅力がある。首都圏の4000万人を超える人口と交通アクセスに恵まれていることも強みである。こうした魅力や強みを生かしながら、にぎわいや経済の活性化、県民の満足度につなげていきたい。

その他の主な質疑

部局別質疑から

- 駅ホームの転落防止対策
- 税収確保対策
- スポーツ活動の推進
- 森林の循環利用促進
- 児童虐待防止対策
- 産業団地の整備
- がん対策の推進
- 通学路の緊急対策
- 県営公園の魅力アップ

- 学校における働き方改革
- 高齢者講習施設庁舎の建設

総括質疑から

- 医師確保対策の推進
- 中小企業への支援
- 看護職員確保対策
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 認知症施策の推進
- LGBTQへの支援
- ウクライナからの避難民への支援

附帯決議

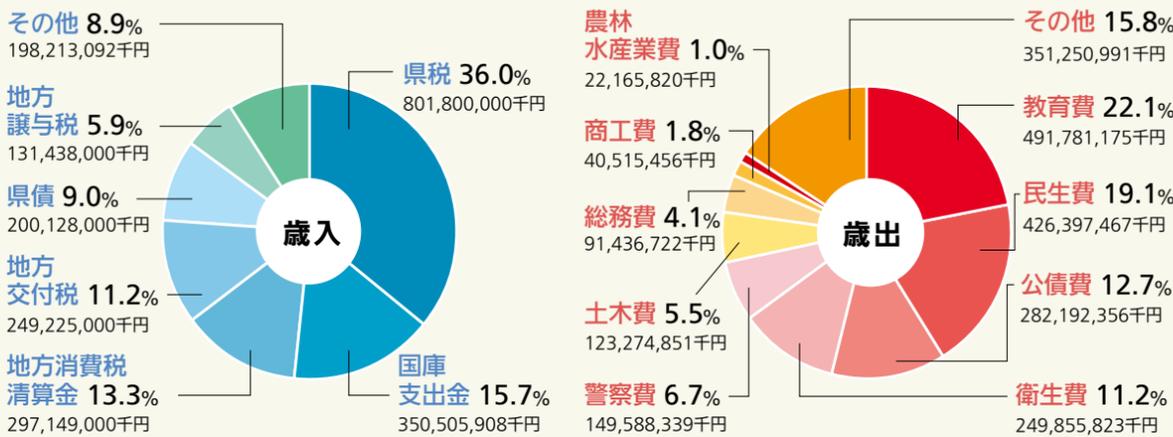
次の事業などについては、それぞれ懸念があるため、必要性や執行方法について十分検討し、適切に対応するよう求めました。

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 県証紙制度の廃止
- 幼稚園教諭の処遇改善

- 彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修
- 観光振興
- 多子世帯応援クーポン

- 保育士の確保
- コバトン健康マイレージ
- 看護職員の確保推進

令和4年度 一般会計予算の概要



予算額

2兆2,284億5,900万円

直面する危機からの脱却

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止
- 社会全体のDXの推進とウィズコロナ下での経済回復・成長

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

- 安心・安全の追究
 - ・ 災害・危機に強い埼玉の構築
 - ・ 県民の暮らしの安心確保
 - ・ 介護・医療体制の充実
- 誰もが輝く社会
 - ・ 子育てに希望が持てる社会の実現
 - ・ 未来を創る子供たちの育成
 - ・ 人生100年を見据えたシニア活躍の推進
 - ・ 誰もが活躍し共に生きる社会の実現
 - ・ 支え合い魅力あふれる地域社会の構築
- 持続可能な成長
 - ・ 未来を見据えた社会基盤の創造
 - ・ 豊かな自然と共生する社会の実現
 - ・ 稼げる力の向上
 - ・ 儲かる農林業の推進

主要施策の構成

議会運営委員会

2月10日と定例会中の10日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。

委員会レポート *report*

2月24日、3月4日・7日に常任委員会を開き、補正予算・条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案61件を原案の通り可決すべきものと決定しました。
3月8日には特別委員会(予算特別委員会を除く。)を開き、付託案件の審査を行いました。

特別委員会

自然再生・循環社会対策特別委員会

脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて審査

地方創生・行財政改革特別委員会

行財政・職員の働き方改革について審査

公社事業対策特別委員会

(公財)埼玉県芸術文化振興財団、(公財)埼玉県国際交流協会、(福)埼玉県社会福祉事業団における改革の取り組みについて審査

少子・高齢福祉社会対策特別委員会

子育て支援、児童虐待防止対策について審査

経済・雇用対策特別委員会

先端産業の推進と企業誘致について審査

危機管理・大規模災害対策特別委員会

危機や災害への対応力の向上について審査

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

文化の振興について審査

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

第6波への対応について審査

常任委員会

産業労働企業委員会

令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第15号) 観光関連事業者への支援について

Q 観光応援キャンペーンの拡大による観光関連事業者への支援について、コロナ禍で人の動きが見通せない状況で増額補正をする必要があるのか。
A この事業はゴールデンウィーク以降、観光客に対する割引とクーポン券の配布対象を全国からの旅行者に広げるものである。確実な事業開始のため早めに準備に入りたい。

県土都市整備委員会

令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第15号) 石綿の有無が不明な建物について

Q 石綿の有無が不明な県所管の68棟の建物にどのような対応をしているのか。また、コロナ禍で訪問が難しい中、郵送による連絡対応はしているのか。
A 未報告の建物所有者に対して、毎年、建築安全センターの職員が訪問による働き掛けを行う。郵送対応も行うが、理解を得るのが難しい案件のため直接訪問していきたい。

文教委員会

埼玉県教育委員会事務局 職員の定数条例の一部を改正する条例について

Q 情報通信技術を活用した学校教育の推進のために定数の増員を図るが、どのような業務に対応するのか。
A 県立学校では教員が行う事務処理のほか、日常的な教育活動にもネットワークを利用している。令和6年度に予定しているネットワーク再構築に向けて増員し、セキュリティ面の強化を検討する。

警察危機管理防災委員会

埼玉県公安委員会等が行う事務に関する手数料条例及び埼玉県証紙条例の一部を改正する条例について

Q 改正道路交通法の施行に伴い、一定の違反歴のある75歳以上の者に対する運転技能検査が追加される。検査の継続等のために運転免許センターに行く回数が増えるなど高齢者の過度な負担にならないか。
A 運転技能検査の受検者は高齢者講習の実車指導が1時間免除となる。多くの方は、新たな負担が増えることはない。

企画財政委員会

埼玉県職員定数条例の一部を改正する条例について

Q 新型コロナウイルス対応と児童虐待防止のため職員定数を増員するが、収束後は減らすのか。また他部署では、必要な職員数と定数の乖離はないか。
A 収束後の平時対応については、関係部局と協議し業務量に応じ組織体制を検討する。定数については、スクラップ・アンド・ビルドを行い必要な配分をしている。

総務県民生活委員会

埼玉県男女共同参画基本計画の策定について

Q 現行の男女共同参画基本計画の目標達成度はさまざまだが、どのように評価・整理しているのか。
A 固定的役割分担意識に同意しない人の割合が目標値の60%を初めて超えるなど、意識面では進んできている。一方、審議会に占める女性の割合など実態面が不十分であり、目標達成に向けて取り組んでいく。

環境農林委員会

令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第15号) 特定家畜伝染病防疫体制強化事業について

Q 令和3年12月発生の高病原性鳥インフルエンザ被害について、対象農家の損失額を全て賄えるのか。また、被害の都度補正予算を組まずに当初予算で多めに積算してはどうか。
A 対象となった損失は全て補填できる見込みである。家畜伝染病は収束後でないため、損失額が算定できないため、その都度補正で対応していく。

福祉保健医療委員会

埼玉県地域保健医療計画の変更について

Q 地域保健医療計画に新型コロナウイルス感染症対策の項目が新設され、体制が整備された。4回目以降のワクチン接種はどうなるのか。
A 現在3回目のワクチン接種を進めているが、再び感染が拡大する可能性もある。今後、国が4回目の接種方針を決めた際には確実かつ迅速に対応できるよう準備を進める。

意見書・決議

意見書10件を可決し、国に提出しました。また、決議3件を全会一致で可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- 死亡ひき逃げ事件における公訴時効撤廃に向けた法整備等を求める意見書
- 労働者災害補償保険の給付の迅速化を求める意見書
- 在宅医療及び在宅介護従事者の安全確保を求める意見書
- 多様な学びの場を提供する施策の充実・強化を求める意見書
- 児童養護施設の入所者・退所者に対する支援充実を求める意見書
- 乳幼児等に対する公費負担医療制度の創設等を求める意見書
- 学校給食無償化を実施する地方自治体に対する財政支援の強化等を求める意見書

- 介護従事者の処遇改善に関する手続の簡素化等を求める意見書
- 命と生活と事業を守るために原油価格高騰への対処を求める意見書
- 新型コロナウイルス・オミクロン株の感染症法上の位置付けにおいて「五類感染症」への引下げを含めた柔軟な対応を求める意見書
- ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議
- 課題や悩みを抱える児童生徒に対する公教育の充実を求める決議
- 北朝鮮による弾道ミサイル等の発射に重ねて断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議

主要会派から ～2月定例会～



埼玉県議会自由民主党議員団
団長 小島 信昭

2月定例会では、私が代表質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策や知事の政治姿勢、知事公約である「あと数マイルプロジェクト」の進捗状況、DXの推進などについて知事をたずねました。

一般質問では5人の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策をはじめポストコロナを見据えた観光振興、医療・福祉・教育の充実など多岐にわたり質問をいたしました。

また、令和4年度予算を審査する予算特別委員会では、部局別質疑で踏み込んだ審査をした上、総括質疑においてしっかりと知事の方針をたずねました。

さらに、ひきこもり支援に関して、ひきこもり状態にある方、そしてそのご家族が安心して支援を受けられる社会を実現するため、「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」をわが団として提案し、他会派の賛同も得て可決されました。



無所属県民会議
代表 岡 重夫

代表質問では、私が2040年に向けた高齢者介護・医療体制や、自殺防止対策などについて大野知事に質問しました。また、一般質問では並木正年議員が、災害時の帰宅困難者対策や医療圏における偏在の解消を訴えました。そして、松坂喜浩議員は、発達障害児（者）への支援、乳幼児医療費支給範囲の拡大について質問を行いました。

さらに、予算特別委員会ではわが会派から5人が臨み、コロナ禍で厳しい財政状況の中でも、会派の重点施策である「新型コロナウイルスからの回復」「新しい時代を切り開く公教育の推進」等がいかに実現されるかという視点で議論を行いました。

その中でも、我々が会派を挙げて取り組む「公立学校におけるスクールソーシャルワーカー（SSW）の充実」に関する質問には、大野知事から前向きな答弁を頂きました。

今後、政策や議会改革実現のため、県民の声に真摯に耳を傾け取り組んでいきます。



埼玉民主フォーラム
代表 田並 尚明

2月定例会では、私が代表質問に立ち、コロナ禍における県の財政や事業者支援、子供の貧困問題や孤立対策、DXの推進などを大野知事に伺いました。

また、一般質問ではわが会派からは高木真理議員が登壇し、ひきこもり支援拡充をはじめ6項目の質問をいたしました。

予算特別委員会では、不肖、私、田並尚明が副委員長に就任し、委員として水村篤弘議員、山根史子議員、辻浩司議員が質問に立ち、新型コロナウイルス対策をはじめ、県民の皆さまや各種団体から頂いた要望を基に、各部局別に質問や提案を行い、執行部からは前向きな答弁を頂きました。

3月21日をもってまん延防止等重点措置が解除されましたが、変容し続ける新型コロナウイルス感染症への対策はまだまだ油断できません。また、新型コロナウイルス感染症に加え世界情勢の影響を受ける県内経済の回復にも心配が残ります。一日も早く安心して暮らせる社会を取り戻すため、これまで以上に地域の皆さまの声に真摯に耳を傾け、会派一丸となり働いてまいります。



埼玉県議会公明党議員団
団長 西山 淳次

2月定例会は代表質問に私が、一般質問に塩野正行議員が登壇しました。私は現代社会がそのまま続けば人類は破局を迎えかねないとの時代認識から温暖化防止対策などを強く求めました。

塩野議員は3回目のワクチン接種の加速化を強く要望するとともに、原油・原材料の価格高騰に対する県の取り組みなどについてたずねました。

予算特別委員会には安藤友貴、萩原一寿、権守幸男の3議員が、認知症対策の推進、県立特別支援学校の作業学習の内容、新型コロナウイルス感染症対策、外国人施策、災害時の情報収集強化、特殊詐欺対策などを取り上げ、論戦を展開しました。

その議論を経た上で、新年度予算はコロナ対策とDXなど喫緊の課題に重点が置かれており、わが党が要望してきた課題にも丁寧な対応がされていると評価し、賛成をいたしました。特に、わが党が提案した社員の奨学金返済を支援する中小企業への補助制度を新設した点は高く評価するものです。



日本共産党埼玉県議員団
団長 柳下 礼子

本定例会の予算特別委員会では党を代表して村岡正嗣議員、秋山もえ議員が質疑を行いました。

秋山もえ議員はウクライナ避難民への医療や住居などの支援、県のコロナ対応について、とりわけ入院すべき方が入院できるような基準を見直すことを強く求めました。また教員の未配置・未補充の解決についても質問しました。村岡議員は県内に住む外国人への医療が十分保障されていないことから外国人医療費助成制度の改善を求めました。

令和4年度予算について、県学力状況調査の継続やマイナンバーカードの普及促進、下水道料金の値上げなどの問題を指摘しました。その一方で、乳幼児医療費の窓口負担の撤廃や、重度障害者のグループホームへの県単補助創設など、わが党の要望してきたことが盛り込まれました。県民に寄り添った県政を進める観点から当初予算について賛成いたしました。

これからも、県民の皆さんの声を県政に届けるために力を尽くしてまいります。

県議会広報テレビ番組

「こんにちは県議会です」

県議会に関するさまざまな情報を分かりやすく紹介しています。
番組の最後にはプレゼントコーナーもあります。
ぜひご覧ください！

放送予定日

議長インタビュー 6月19日

副議長
議会運営委員長
インタビュー 6月26日



進行役
望月麗奈
アナウンサー



詳しい放送スケジュールは、
随時ホームページでお伝え
いたします。

日曜日
午前10時
から



会派別所属議員数 令和4年4月20日現在

会派名(略称)	所属議員数
自民	48人
県民	13人
民主フォーラム	9人
公明	9人
共産党	6人
改革	1人
無所属	1人
計	87人

埼玉県議会の令和3年度 情報公開の結果について

令和3年度に公開請求を受け付けた公文書の件数は、354件でした。そのうちプライバシーに配慮して氏名や印影など、文書の一部を公開しない部分公開が306件、該当するものがなかったとの理由により公開できなかったものが48件でした。

新議員決まる

埼玉県議会議員補欠選挙（西第10区 坂戸市）により、令和4年1月31日に新議員が選出されました。



小川 直志
(自民)

「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」を可決

ひきこもり状態にある方とその家族はさまざまな不安を抱えています。身近に支援を受けることのできる場所がなく孤立しているケースが多くなっています。この不安に付け込んだ悪質業者によるトラブルも各地で確認されています。ひきこもり支援は、「本人の意思」を十分に尊重し、本人とその家族が孤立しないよう身近に安心して支援を受けられる環境を整備することが必要です。

そこで、ひきこもり支援に関し、基本理念を定め、県の責務および民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進するために必要な事項を定めることなどにより、安心して支援を受けられる社会を実現するため、本条例が議員提出され、全会一致で可決されました。



(施行：令和4年3月29日)

基本理念

- ひきこもり状態にある者の意思を尊重して支援する など

民間支援団体などの役割

- 基本理念にのっとり、県および市町村と連携し、ひきこもり状態にある者とその家族に対する支援を行うよう努める

県の責務

- ひきこもり支援に関する施策の総合的な実施 など

主要な施策など

- 民間支援団体などによる支援の推進
- 体制の整備
- 財政上の措置

新たな委員会構成

※◎は委員長、○は副委員長です。 令和4年4月20日現在

委員会名	正副委員長	委員
議会運営委員会	定数 17 ◎ 白土 幸仁 (自民) ○ 横川 雅也 (自民) ○ 松坂 喜浩 (県民)	深谷 顕史 (公明) 八子 朋弘 (県民) 宇田川幸夫 (自民) 山根 史子 (民注フォーラム) 井上 航 (県民) 立石 泰広 (自民) 権守 幸男 (公明) 秋山 文和 (共産党) 須賀 敬史 (自民) 梅澤 佳一 (自民) 田村 琢実 (自民) 本木 茂 (自民) 小谷野五雄 (自民) 木村 勇夫 (民注フォーラム)
常任委員会		
企画財政委員会	定数 12 欠員 1 ◎ 藤井 健志 (自民) ○ 逢澤圭一郎 (自民)	八子 朋弘 (県民) 白根 大輔 (民注フォーラム) 関根 信明 (自民) 宇田川幸夫 (自民) 井上 航 (県民) 萩原 一寿 (公明) 齊藤 邦明 (自民) 田村 琢実 (自民) 長峰 宏芳 (自民)
総務県民生活委員会	定数 12 欠員 1 ◎ 松澤 正 (自民) ○ 高木 功介 (自民)	岡村ゆり子 (県民) 浅井 明 (自民) 辻 浩司 (民注フォーラム) 岡 重夫 (県民) 立石 泰広 (自民) 新井 一徳 (自民) 梅澤 佳一 (自民) 柳下 礼子 (共産党) 石渡 豊 (公明)
環境農林委員会	定数 11 欠員 1 ◎ 木下 博信 (自民) ○ 深谷 顕史 (公明)	小川 直志 (自民) 柿沼 貴志 (県民) 村岡 正嗣 (共産党) 岡地 優 (自民) 小川真一郎 (自民) 神尾 高善 (自民) 小島 信昭 (自民) 木村 勇夫 (民注フォーラム)
福祉保健医療委員会	定数 12 ◎ 細田 善則 (自民) ○ 高橋 稔裕 (自民)	金野 桃子 (県民) 守屋 裕子 (共産党) 並木 正年 (県民) 永瀬 秀樹 (自民) 小久保憲一 (自民) 塩野 正行 (公明) 諸井 真英 (自民) 小谷野五雄 (自民) 西山 淳次 (公明) 田並 尚明 (民注フォーラム)
産業労働企業委員会	定数 12 欠員 2 ◎ 岡田 静佳 (自民) ○ 宮崎 吾一 (自民)	秋山 もえ (共産党) 平松 大佑 (県民) 山根 史子 (民注フォーラム) 石川 忠義 (県民) 権守 幸男 (公明) 荒木 裕介 (自民) 横川 雅也 (自民) 齊藤 正明 (自民)
県土都市整備委員会	定数 12 ◎ 飯塚 俊彦 (自民) ○ 安藤 友貴 (公明)	杉田 茂実 (自民) 中川 浩 (改革) 渡辺 大 (自民) 町田 皇介 (民注フォーラム) 浅野日義英 (無所属) 醍醐 清 (県民) 武内 政文 (自民) 高木 真理 (民注フォーラム) 高橋 政雄 (自民) 宮崎栄治郎 (自民)
文教委員会	定数 11 ◎ 吉良 英敏 (自民) ○ 阿左美健司 (自民)	江原久美子 (県民) 内沼 博史 (自民) 新井 豪 (自民) 秋山 文和 (共産党) 鈴木 正人 (県民) 須賀 敬史 (自民) 蒲生 徳明 (公明) 山本 正乃 (民注フォーラム) 中屋敷慎一 (自民)
警察危機管理防災委員会	定数 11 欠員 1 ◎ 美田 宗亮 (自民) ○ 橋詰 昌児 (公明)	千葉 達也 (自民) 松井 弘 (自民) 松坂 喜浩 (県民) 前原かつえ (共産党) 日下部伸三 (自民) 水村 篤弘 (民注フォーラム) 白土 幸仁 (自民) 本木 茂 (自民)
特別委員会		
自然再生・循環社会対策特別委員会	定数 13 欠員 2 ◎ 岡地 優 (自民) ○ 宇田川幸夫 (自民)	岡村ゆり子 (県民) 高木 功介 (自民) 守屋 裕子 (共産党) 吉良 英敏 (自民) 安藤 友貴 (公明) 石川 忠義 (県民) 水村 篤弘 (民注フォーラム) 神尾 高善 (自民) 小谷野五雄 (自民)
地方創生・行財政改革特別委員会	定数 13 ◎ 小久保憲一 (自民) ○ 永瀬 秀樹 (自民)	高橋 稔裕 (自民) 橋詰 昌児 (公明) 白根 大輔 (民注フォーラム) 松坂 喜浩 (県民) 美田 宗亮 (自民) 井上 航 (県民) 白土 幸仁 (自民) 高木 真理 (民注フォーラム) 柳下 礼子 (共産党) 田村 琢実 (自民) 齊藤 正明 (自民)
公社事業対策特別委員会	定数 13 欠員 1 ◎ 新井 一徳 (自民) ○ 内沼 博史 (自民)	八子 朋弘 (県民) 松井 弘 (自民) 浅野日義英 (無所属) 飯塚 俊彦 (自民) 秋山 文和 (共産党) 須賀 敬史 (自民) 塩野 正行 (公明) 高橋 政雄 (自民) 小島 信昭 (自民) 木村 勇夫 (民注フォーラム)
少子・高齢福祉社会対策特別委員会	定数 13 ◎ 齊藤 邦明 (自民) ○ 岡田 静佳 (自民)	金野 桃子 (県民) 阿左美健司 (自民) 千葉 達也 (自民) 町田 皇介 (民注フォーラム) 辻 浩司 (民注フォーラム) 前原かつえ (共産党) 岡 重夫 (県民) 新井 豪 (自民) 萩原 一寿 (公明) 蒲生 徳明 (公明) 長峰 宏芳 (自民)
経済・雇用対策特別委員会	定数 13 欠員 1 ◎ 荒木 裕介 (自民) ○ 横川 雅也 (自民)	杉田 茂実 (自民) 平松 大佑 (県民) 渡辺 大 (自民) 松澤 正 (自民) 山根 史子 (民注フォーラム) 村岡 正嗣 (共産党) 鈴木 正人 (県民) 梅澤 佳一 (自民) 本木 茂 (自民) 石渡 豊 (公明)
危機管理・大規模災害対策特別委員会	定数 13 欠員 1 ◎ 日下部伸三 (自民) ○ 権守 幸男 (公明)	小川 直志 (自民) 秋山 もえ (共産党) 柿沼 貴志 (県民) 逢澤圭一郎 (自民) 宮崎 吾一 (自民) 藤井 健志 (自民) 浅井 明 (自民) 醍醐 清 (県民) 山本 正乃 (民注フォーラム) 西山 淳次 (公明)
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会	定数 13 欠員 1 ◎ 立石 泰広 (自民) ○ 細田 善則 (自民)	深谷 顕史 (公明) 中川 浩 (改革) 江原久美子 (県民) 並木 正年 (県民) 関根 信明 (自民) 木下 博信 (自民) 小川真一郎 (自民) 諸井 真英 (自民) 宮崎栄治郎 (自民) 田並 尚明 (民注フォーラム)
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会	定数 18 ◎ 小島 信昭 (自民) ○ 本木 茂 (自民)	岡村ゆり子 (県民) 秋山 もえ (共産党) 柿沼 貴志 (県民) 千葉 達也 (自民) 橋詰 昌児 (公明) 町田 皇介 (民注フォーラム) 松坂 喜浩 (県民) 宇田川幸夫 (自民) 山根 史子 (民注フォーラム) 岡田 静佳 (自民) 細田 善則 (自民) 小久保憲一 (自民) 権守 幸男 (公明) 須賀 敬史 (自民) 新井 一徳 (自民) 田村 琢実 (自民)
図書室委員会	定数 14 ◎ 永瀬 秀樹 (自民) ○ 吉良 英敏 (自民)	岡村ゆり子 (県民) 深谷 顕史 (公明) 柿沼 貴志 (県民) 千葉 達也 (自民) 渡辺 大 (自民) 安藤 友貴 (公明) 水村 篤弘 (民注フォーラム) 岡地 優 (自民) 新井 一徳 (自民) 柳下 礼子 (共産党) 諸井 真英 (自民) 小島 信昭 (自民)

県議会クイズ

Q OOOOに当てはまる言葉は何でしょう。

はがきに右記のようにご記入の上、6月2日(木) (当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。

県議会公式Twitterでは、県議会マスコットの「OOO」もツイートします!

プレゼント

図書カード 1,000円分 ...20名様

埼玉県議会 検索
県議会ホームページからご応募いただけます。

63 330-9301 埼玉県議会事務局 政策調査課

1.クイズの答え
2.郵便番号
3.住所
4.通勤・通学先の市町村名(県外にお住まいの方のみ)
5.氏名・年齢
6.埼玉県議会だよりに関するご意見

【個人情報の取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。

県議会公式Twitterを開設しました!

@saitamakengikai で検索!



埼玉県議会の公式Twitterアカウントが、令和4年2月から運用開始しました。

最新の定例会情報はもちろん、県議会で開催する楽しいイベント情報なども随時お知らせしていきます。

時には、県議会マスコットのポッポも、何やらつぶやくかもしれません。ぜひフォローしてチェックしてみてください!

